＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	自然素材とダブル断熱の家ネットワーク
グループの名称	オーパスネットワーク
直近採択グループ番号	06-0609-0465

（グループ代表者）

代表者名	吉冨　広紀　代表者印
代表者所属先	株式会社オーパス
代表者所在地	愛知県小牧市東新町28-1
代表者電話番号	0568-42-1140

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社オーパス
事務局担当者名	大塚　里香　印
事務局郵便番号	485-0028
事務局所在地	愛知県小牧市東新町28-1
事務局電話番号	0568-42-1140
事務局FAX	0568-43-1800
事務局担当者E-mail	info@opus-net.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	自然素材とダブル断熱の家ネットワーク
２．グループの名称(必須)	オーパスネットワーク
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0609-0465
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	全国
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	吉冨　広紀
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社オーパス
８．グループ代表者所在地(必須)	愛知県小牧市東新町28-1
９．グループ代表者電話番号(必須)	0568-42-1140
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社オーパス
１１．グループ事務局担当者名(必須)	大塚　里香
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	485-0028
１３．グループ事務局所在地(必須)	愛知県小牧市東新町28-1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0568-42-1140
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0568-43-1800
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@opus-net.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	8	一部原木供給事業者が海外であるため、必要とされる念書の入手が困難なため登録を行わない。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	14	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	5	
Ⅴ．設計	8	
Ⅵ．施工	9	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	基本的には、着工時期の早い事業者を優先とする。ただ、同時期になった場合は、未経験の事業者を優先とし、更に今後の実行性等も考慮する。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		0	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		1	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）										
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		1	戸
	優良建築物型										
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		0	戸
		採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		0	㎡

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅰ＞

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
一部原木供給事業者が海外であるため、必要とされる念書の入手が困難なため登録を行わない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
38	Ⅰ － 13	いしづち森林組合		793-0030	愛媛県西条市大町1211番地	0897-56-0180
13	Ⅰ － 14	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅰ － 15	ひろしま木材事業共同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
38	Ⅰ － 16	八幡浜官材共同組合		795-0086	愛媛県大洲市成能字大地原甲510-5	0895-50-1250
33	Ⅰ － 17	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番地10号	086-222-7671
33	Ⅰ － 18	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1番地	0867-42-0602
23	Ⅰ － 30	株式会社東海木材相互市場		456-0033	愛知県名古屋市熱田区花表町21番1号	052-881-1551
21	Ⅰ － 31	下呂総合木材市売協同組合		509-2311	岐阜県下呂市乗政字暮石122-2	0576-26-3202
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
13	Ⅱ － 14	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
38	Ⅱ － 16	八幡浜官材共同組合		795-0086	愛媛県大洲市成能字大地原甲510-5	0895-50-1250
38	Ⅱ － 19	株式会社サイプレス・スナダヤ		799-1101	愛媛県西条市小松町新屋敷甲1171番地1	0898-72-2421
33	Ⅱ － 20	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209番地	0867-44-2695
9	Ⅱ － 21	二宮木材株式会社		329-2746	栃木県那須塩原市四区町741-5	0287-36-0056
34	Ⅱ － 22	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
29	Ⅱ － 23	株式会社櫻井		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治15-1	0746-32-0563
5	Ⅱ － 24	株式会社宮盛		018-1734	秋田県南秋田郡五城目町大川大川字沖面195	018-875-2151
34	Ⅱ － 25	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町3丁目2-20	084-934-6717
33	Ⅱ － 26	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
33	Ⅱ － 27	牧野木材工業株式会社		719-3205	岡山県真庭市草加部288番地8	0867-42-4321
24	Ⅱ － 28	グリーンウッドタクミ協同組合		515-0088	三重県松阪市木の郷町12番地	0598-20-2233
21	Ⅱ － 32	有限会社倉地製材所		509-2506	岐阜県下呂市萩原町羽根408	0576-52-1876
24	Ⅱ － 33	齋藤木材有限会社		515-1303	三重県松阪市飯南町下仁柿551	0598-32-2196
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
23	Ⅲ － 7	株式会社オーパス		485-0028	愛知県小牧市東新町28-1	0568-42-1140
14	Ⅲ － 34	ナイス株式会社		230-8571	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1	045-521-6161
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
8	Ⅳ － 9	ポラテック株式会社		306-0606	茨城県坂東市幸田小生田山297-1（坂東工場）	0297-35-7100
22	Ⅳ － 10	ポラテック富士株式会社		417-0801	静岡県富士市大淵字元篤3800-7	0545-37-1192
25	Ⅳ － 11	ポラテック西日本株式会社		520-3405	滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17	0748-88-6551
4	Ⅳ － 12	ポラテック東北株式会社		981-4203	宮城県加美郡加美町菜切谷字中野一番5番地4（東北工場）	0229-63-8815
21	Ⅳ － 35	株式会社佐合木材		505-0034	岐阜県美濃加茂市古井町下古井450-1	0574-26-3111
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
29	Ｖ － 1	葛城建設株式会社		639-0223	奈良県香芝市真美ヶ丘５丁目３番２９号	0745-76-5510	○	
25	Ｖ － 2	有限会社藤戸工務店		520-1621	滋賀県高島市今津町今津666-1	0740-22-3798		○
23	Ｖ － 5	ITO企画設計室		475-0836	愛知県半田市青山6-17-12	0569-24-3469	○	
14	Ｖ － 6	株式会社秋山設計		250-0878	神奈川県小田原市下新田220-3	0465-48-9955		○
21	Ｖ － 29	株式会社山の木の家		501-3256	岐阜県関市巾３丁目１９番地１	0575-23-2477	○	
9	Ｖ － 36	株式会社益徳工務店		329-2711	栃木県那須塩原市石林317-11	0287-36-3820	○	
34	Ｖ － 37	アートホームズ株式会社		731-0123	広島県広島市安佐南区古市3-4-10	082-836-3881	○	
2	Ｖ － 38	Ｕ－１ホーム		031-0801	青森県八戸市江陽一丁目11-3	0178-47-9366	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							9	○	○
29	Ⅵ - 1	78048	葛城建設株式会社		639-0223	奈良県香芝市真美ヶ丘5丁目3番29号	0745-76-5510	○	
25	Ⅵ - 2		有限会社藤戸工務店		520-1621	滋賀県高島市今津町今津666-1	0740-22-3798	○	
23	Ⅵ - 3	75407	OPUSスタイル株式会社		485-0028	愛知県小牧市東新町28－1	0568-43-1536	○	
23	Ⅵ - 4	83036	ウッドベース株式会社		491-0071	愛知県一宮市長島町三丁目13番地1	0568-72-9282	○	
14	Ⅵ - 8	72476	有限会社森下工務店		250-0051	神奈川県小田原市北ノ窪442-2	0465-35-6735		○
21	Ⅵ - 29	74475	株式会社山の木の家		501-3256	岐阜県関市巾3丁目19番地1	0575-23-2477	○	
9	Ⅵ - 36	91372	株式会社益徳工務店		329-2711	栃木県那須塩原市石林317-11	0287-36-3820	○	
34	Ⅵ - 37		アートホームズ株式会社		731-0123	広島県広島市安佐南区古市3-4-10	082-836-3881		○
2	Ⅵ - 38	90001	U－1ホーム		031-0801	青森県八戸市江陽一丁目11-3	0178-47-9366	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
29	Ⅵ－ 1	78048	葛城建設株式会社	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	3以下		○	○
25	Ⅵ－ 2		有限会社藤戸工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
23	Ⅵ－ 3	75407	OPUSスタイル株式会社	12 戸	9 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
23	Ⅵ－ 4	83036	ウッドベース株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
14	Ⅵ－ 8	72476	有限会社森下工務店	3 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
21	Ⅵ－ 29	74475	株式会社山の木の家	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
9	Ⅵ－ 36	91372	株式会社益徳工務店	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
34	Ⅵ－ 37		アートホームズ株式会社	6 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	Ⅵ－ 38	90001	U－1ホーム	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）自然素材とダブル断熱の家ネットワーク	（地域型住宅供給対象地域）全国
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）オーパスネットワーク	（結成年）2015 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0609-0465	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	ダブル断熱システムを基準とした性能とする。高温多湿の気候が多い日本にあった断熱性能が高く水分のコントロールができる性能をあわせもった住宅とする。冬は暖かく夏は涼しい空間となり快適な生活を送ることができるような「断熱効果」、通気性と調湿性に優れた構造で壁内結露から家を守り長寿命の家を実現する「結露防止」、木質繊維の内断熱材が優れた調湿効果を発揮し、梅雨の時期でも快適に過ごすことができる「調湿効果」、自己消火性と難燃性の断熱材を使用し、防火認定を取得している「防火性能」、ホウ素系薬剤22%含有のファイバーエースで虫から家を守る「防虫効果」、遮音認定を取得している「防音効果」等光熱費を抑える「省エネ」を配慮した住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	内断熱材は自然素材のセルロースファイバーの「ファイバーエース」をを採用することを基本とする。調湿効果の優れたファイバーエースで室内を快適な湿度に保ち、それにより内部結露を防ぐ。外断熱材はビーズ法ポリスチレンフォームの「フォルテ」を使用する。外側からまるごと家を囲いこむことで内と外の温度差を緩和し、より室内を快適な空間に保つ。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	人に優しく、家に優しく、環境に優しくをテーマに独自の《風家》というスタイルを推奨。 外観は住まい手や街並みにあうよう、プロバンススタイル・和モダンスタイル・シンプルモダンスタイルなどのパターンがある。外壁には塗壁を使用し、地域に溶け込んだ優しい住宅。家はこれからもずっと住み続けていくものでありながら、時が経てば衰えていくが、「風家」は、いかに年を重ねる（時が経つほど、風合いや味わいを出す）かにもこだわったスタイルです。本物の素材を使用したからこそ、何年、何十年後も素敵な住まいであり続けることを目指していく。	◎
④ ①～③の背景	近年の日本の住宅は冬の寒さをしのぐため、風を遮った隙間の無い住宅がつくられている。夏の暑い時期には湿気が室内にこもり壁内の構造体などに吸収され冬の寒い時期にはサッシや壁面で起きる結露により、水が内部へと浸透してしまうので、そうした水分が構造体を腐らせ、カビの発生を助長し、住宅の寿命を縮めている。 「ファイバーエース」は構造体への負担を軽くし、水分のコントロールを可能とするため、住まいの寿命を長くします。日本のような湿度の高い環境において最適な工法と考えられます。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	セルロースファイバー「ファイバーエース」を安全に安心して使用できるような取り組みをおこなっている。最長30年（10年毎更新型）保証を付与できるよう施工認定店（士）の取り組みを更に進めていく。 また、ダブル断熱工法による防火認定も取得しているので、防火の基準にあった工法での取り組みも進めていく。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容： ダブル断熱の外側断熱材「フォルテ」と外側断熱材の「ファイバーエース」は、事務局でもある株式会社オーパスを窓口とし建材および資材の受発注業務を行なう。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容： 独自のスタイル《風家》を標準仕様として設定。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容： 事務局である株式会社オーパスが資材の受発注窓口となり、一括管理する体制を構築。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容： 事務局である株式会社オーパスが一括管理する。材料の見積から発注までを各部署にて担当し、情報を共有。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容： 窓口（事務局）である株式会社オーパスが設計や施工に対する技術面をサポートするとともに、セミナーの開催や生産体制について構成員の意見を聞く機会（情報交換の場）を実施する。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容： 設計基準、施工基準等省エネやその他性能等の情報をグループ構成員にフィードバックし生産の合理化を目指す。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容： ダブル断熱工法の施工マニュアルの発信や特に施工についての勉強会をし技術力向上に努める。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容： グループとしての基準を明確にし、検査項目（チェックリスト）を作成し、自主検査できる体制の構築をする。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容： 標準仕様《風家》を基に、見積りの情報を共有化していく。見積りの内容を明確にし納得して頂ける内容で、明確さやスピードも重視する。見積りに関しては、事務局がサポートするとともに、材料に関する見積りを代行し、構成員である施工事業者に提供していく。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容： セルロースファイバー断熱材『ファイバーエース』の性能に対して、最長30年間（10年毎更新型）保証である《ファイバーエース無結露30年延長保証》を付与することで、お施主様への信頼につなげる。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容： 工事着手までの時間や着工後も余裕をもった計画をし、見直しを推奨する。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容： 資格、技能をもったものや経験等のデータ化への取り組みをし、見える化を推奨していく。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容： 下請けの建設企業も含め現場担当者の社会保険加入状況をチェックするよう推進する。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容： 特に現場における安全施工マニュアルの作成の推奨。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	全国的なグループのため、効率的な体制づくりには柔軟性も求められる。事務局である株式会社オーパスが中心となって各地域の業者の協力を得て、スムーズな対応が出来るよう、建築総合サポート事業部が対応していく。				

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）自然素材とダブル断熱の家ネットワーク	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）オーパスネットワーク	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0609-0465	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：事務局である株式会社オーパスが取次店（窓口）となり、住宅の資産価値維持向上を進める。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：株式会社日本住宅保証検査機構（JIO）や株式会社ハウスジーメンと連携し、住宅履歴情報を管理する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：情報サービス機関より確認する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報を維持管理に役立て点検マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて点検する。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：事務局にてマニュアルを配信する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：点検実施の報告書を事務局に提出するよう推奨する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：施工事業者が適宜行う。事務局のHPからも全国的に配信し情報共有していく。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：施工事業者は定期的に体験会等を実施する。その際事務局オーパスのHPからも配信し情報共有をする。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：施工事業者は定期的に相談会等を実施する。また、国が推進しているガイドライン等事務局にて情報を配信する。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：内断熱材に対する《ファイバーエース無結露30年延長保証》の確立及び遂行に向けて事務局が中心となり施工業者に対して配信をし強化し、定期的に勉強会等開催する。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：今後の住宅長期化に向けて維持保全計画は重大な課題となっていくため、リフォームやメンテナンスに関する技術的な基準や知識、ノウハウを作成し施工事業者に配信する。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：全国のネットワークを生かし協力体制を整え、倒産時等の引継ぎをサポートしていく。また、一般社団法人ハウスワランティ様と協力し、地盤保証システムを活用した完成保証付住宅を促進していく。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：事例をふまえたセミナーや施工勉強会を各地で開催する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			将来的に、点検マニュアルや補修マニュアル、また報告書等をグループ構成員が建築した住宅全てにおいて実施できるようにする。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：施工のサポートや指導、スペックや申請などの技術提供を事務局が行う。また、DVDでの施工の手引きや施工要領書での指導も行う。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：それぞれの施工要領書に則った方法により施工する。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：第三者により現場検査、もしくはチェックシートに基づいた確認を推奨。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：定期的に地域型住宅も踏まえた勉強会や情報の発信をする。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：未経験の工務店にも経験してもらえるよう勉強会や個別にて案内を進める。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：設計基準や施工基準の配信をし、業種ごとの役割を合理的に進める。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：受講状況の把握や、開催日時の配信をしていく。	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：メーカー等と新しい材料、新しい技術の導入を目指し事務局より構成員に配信していく。現在導入している減震装置UFO-Eの標準化を進めていく。	○
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			住宅の省エネ基準やフラット35など、住宅関連の施策や制度についてのサポートや、地域型住宅に限らず補助金の活用、また消費税に対するサポート等勉強会を通じてサポートをし、高性能の住宅造りの促進に努める。			○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）自然素材とダブル断熱の家ネットワーク	（地域型住宅供給対象地域）全国
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）オーパスネットワーク	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0609-0465	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	使用する合法木材は含水率20%以下の乾燥材・集成材とする。 合法木材供給グループから提出される木拾い表、合法木材証明書、出荷証明書を確認し申請書に添付する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	使用する合法木材は、合法木材供給グループからとし、グループから提供される木拾い表、合法木材証明書、出荷証明書をを確認し、申請書に添付するものとする。 プレカット使用書などで、プレカット業者・施工業者・設計者が地域材や使用率等の情報を共有できる仕組みを構築する。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：事務局が中心となり、変動のある地域材（合法木材）の品質や特性も含め、価格や在庫状況を施工業者に定期的に情報を配信する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：プレカット業者と施工事業者は常に相互確認をし、見積等にて確認できるようにする。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：事務局が中心となり、地域材《合法木材）の供給体制を強化し、原木供給・製材業者の協力を得て、受給状況を把握する。	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：全国に構成員がまたがる為、地元の業者の協力を得て素材を検討し活用していく。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：全国に構成員がまたがる為、それぞれの地域にあった伝統的な意匠を検討し活用していく。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：外壁塗壁材は、色目や塗り方でその地域に溶け込んだ空間をつくることができるため、景観条例等に配慮しながら、伝統的なデザインを採用していく。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：それぞれの地域にあった断熱性能や設備性能を考慮し快適な環境につながるよう進める。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：《風家》のスタイルには、和のスタイルからシンプルスタイル、プロバンススタイルもあるので、その地域に溶け込んだスタイルを提案していく。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：《風家》の標準仕様としている、漆喰塗壁は、畳と相性がよい。疲れた体と心を癒す和の空間をつくることで、和の素材を推奨していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		できるだけ地域材の利用を増やせるように安定した供給に取り組む。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地区の構成員もいるため、優先的にサポートする。また東北地方からの材料供給等も視野にいれた取り組みをする。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	事務局である株式会社オーパスの全国的なネットワークを生かし、熊本方面の施工業者に対するサポートや、九州方面でのセミナー等の開催を引続き積極的に行う。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）自然素材とダブル断熱の家ネットワーク	（地域型住宅供給対象地域）全国
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）オーパスネットワーク	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0609-0465	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

基本的な性能はダブル断熱をもとに、LEDや樹脂サッシの使用を標準とし、省エネ型の住宅とする。

《8つのポイント》

①省エネで快適は断熱効果
2つの断熱で冬暖かく、夏涼しい家になり、快適な生活を送ることができる。

②長生き住宅結露防止
通気性と調湿に優れた構造で内部結露から家を守り、長寿命の家を実現。

③梅雨でも快適調湿効果
木質繊維の内断熱材が優れた調湿効果を発揮し、梅雨の時期でも快適に生活できる。

④火災への安心防火
自己消火性と難燃性の断熱材を使用し、国土交通省から防火認定を取得。

⑤虫知らずで快適防虫効果
ホウ素系薬剤22％含有のファイバーエースが虫から家を守る。

⑥音を気にせず生活防音効果
国土交通省から界壁の遮音認定を取得。

⑦省エネで快適安心安全
国土交通省から数々の認定を取得。

⑧地球に優しい家省エネ
高い断熱性能によって光熱費を抑え省エネ効果を発揮。

ダブル断熱で長生きする家づくりを推奨

外断熱を外断熱システム「フォルテ」、内断熱を「ファイバーエース」の二つの断熱材（ダブルの断熱）を組み合わせた工法。
断熱欠損が少ないフォルテで家を囲い込むことで内と外の温度差を緩和し、調湿効果の優れたファイバーエースで室内を快適な湿度に保つ。それによって内部結露を防ぎ、構造体への負担を軽減する。日本のような湿度の高い環境にあった工法。
また構造一体で多くの認定を取得しているため、安心して家を建てることができる。

【認定低炭素住宅】

省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量が△10％以上となること。

主要構造材に合法木材等を50％以上利用することを目標とする。

【ゼロ・エネルギー住宅】

外皮・断熱性能をUA値0.6以下とする。

R0は20％以上となるようにする。

※認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅ともに、BELSの取得を目指す。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。